

第 1 章 公共用水域の水質状況

I 公共用水域水質調査結果

(大気・水環境対策の取組 I-1-④水環境に係るモニタリングの実施から抜粋)

○基本施策 I-1-④水環境に係るモニタリングの実施○

④水環境に係るモニタリングの実施

市内の水環境の状況を把握するため、河川、海域、地下水の水質・水量や地盤沈下の状況について、定期的にモニタリング調査を行い、環境基準等の達成状況を確認しています。

1 河川・海域の水質調査：測定計画及び市計画（公共用水域）（I-1-④-1 関係）

市内の公共用水域（多摩川水系、鶴見川水系及び東京湾）の状況について、水質汚濁防止法第16条に基づき神奈川県が作成した「神奈川県公共用水域及び地下水の水質測定計画」（以下「測定計画」といいます。）及びこれを補完する形で本市が作成した市計画に基づいて測定を実施しています。測定計画地点及び河川市計画主要地点では、通年で測定（毎月1回）を行っており、市計画地点（河川及び海域）では、年4回測定を行っています。本報告では、通年で測定を行っている地点で生活環境項目の環境基準値適合状況を評価し、その他の測定地点では、季節変動、年平均値の推移を把握し、市内全域の水環境を把握しています。

(1) 測定の概要

公共用水域の水質の測定については、令和5(2023)年度は次のとおり実施しました。

ア 測定の種類（河川及び海域）

水質汚濁防止法第15条に基づく常時監視による水質測定

水質汚濁防止法第16条に基づく「測定計画」による水質測定

イ 測定地点

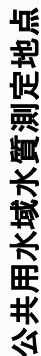
河川 25 地点、海域 12 地点

ウ 測定項目等

健康項目、生活環境項目、要監視項目等

公共用水域水質測定項目数

項目	河川	海域
健康項目（カドミウム、全シアン等）	27 項目	25 項目
生活環境項目（BOD、COD 等）	12 項目	10 項目
特殊項目（フェノール類、銅、EPN、ニッケル等）	7 項目	6 項目
要監視項目（クロロホルム等、ただし、EPN とニッケルを除く。）	30 項目	19 項目
その他の項目（アンモニア性窒素等）	7 項目	6 項目
計	83 項目	66 項目



(2) 環境基準の達成状況

公共用水域の環境基準達成状況

測定項目		環境基準達成（適合）状況
人の健康の保護に関する環境基準項目（カドミウム、全シアン等）		全項目について、河川、海域の全地点で環境基準を達成
生活環境の保全に関する環境基準項目	生物化学的酸素要求量（BOD）	河川の全地点で環境基準値に適合
	化学的酸素要求量（COD）	海域の6地点中4地点で環境基準値に適合
	大腸菌数	河川の2地点で環境基準を非達成
	全窒素	海域の6地点中5地点で環境基準値に適合
	全リン	海域の6地点中2地点で環境基準値に適合
	全亜鉛	河川の5地点中4地点で環境基準値に適合 海域の全地点で環境基準値に適合
	ノニルフェノール	河川の全地点で環境基準値に適合 海域の全地点で環境基準値に適合
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）	河川の全地点で環境基準値に適合 海域の全地点で環境基準値に適合

（注）生活環境項目の評価（BOD等）

生活環境項目（BOD等）の環境基準達成状況の評価は、県が定めたその水域を代表する地点となる環境基準点で行い、複数の環境基準点を持つ水域においては、当該水域内のすべての環境基準点における適合状況により判定しています。本市には他自治体にまたがる水域があること、また環境基準点ではない地点においても測定していることから、「水域」としての達成状況の判断ではなく、「地点」ごとに環境基準値の適合状況を判断しており、測定値が環境基準値以下であったときに「適合」と表現しています。

なお、大腸菌数の環境基準の達成状況については個々の環境基準点で判断するため、「達成（非達成）」と表現しています。

(3) 測定結果

ア 河川水質の測定結果

(ア) 健康項目

健康項目とは、人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準として環境基準が定められた項目です。

河川の健康項目 27 項目は、令和 5 (2023) 年度は全地点で環境基準を達成しました。

健康項目の環境基準達成状況（河川）

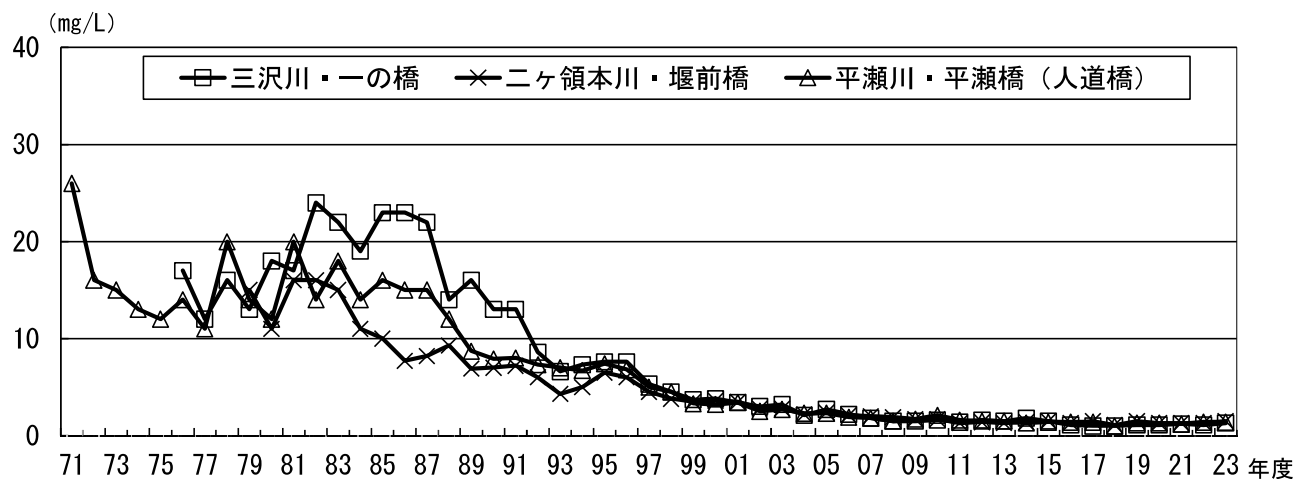
健康項目	調査 地点数	環境基準値 (mg/L)	各地点の年間平均値 の最高濃度 (mg/L)	環境基準 達成 地点数	達成率 (%)
カドミウム	10	0.003 以下	0.0003 未満	10	100
全シアン	10	検出されないこと	不検出	10	100
鉛	10	0.01 以下	0.005 未満	10	100
六価クロム	10	0.02 以下	0.01 未満	10	100
砒素	10	0.01 以下	0.005 未満	10	100
総水銀	10	0.0005 以下	0.0005 未満	10	100
アルキル水銀※	—	検出されないこと	—	—	—
PCB	10	検出されないこと	不検出	10	100
ジクロロメタン	10	0.02 以下	0.0002 未満	10	100
四塩化炭素	10	0.002 以下	0.0002 未満	10	100
1,2-ジクロロエタン	10	0.004 以下	0.0002 未満	10	100
1,1-ジクロロエチレン	10	0.1 以下	0.0002 未満	10	100
シス-1,2-ジクロロエチレン	10	0.04 以下	0.0002 未満	10	100
1,1,1-トリクロロエタン	10	1 以下	0.0002 未満	10	100
1,1,2-トリクロロエタン	10	0.006 以下	0.0002 未満	10	100
トリクロロエチレン	10	0.01 以下	0.0002 未満	10	100
テトラクロロエチレン	10	0.01 以下	0.0002	10	100
1,3-ジクロロプロペン	10	0.002 以下	0.0004 未満	10	100
チウラム	10	0.006 以下	0.0006 未満	10	100
シマジン	10	0.003 以下	0.0003 未満	10	100
チオベンカルブ	10	0.02 以下	0.002 未満	10	100
ベンゼン	10	0.01 以下	0.0002 未満	10	100
セレン	10	0.01 以下	0.002 未満	10	100
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	10 以下	7.3	10	100
ふっ素	10	0.8 以下	0.19	10	100
ほう素	10	1 以下	0.42	10	100
1,4-ジオキサン	10	0.05 以下	0.005 未満	10	100

※アルキル水銀は総水銀が検出された場合に分析を行うため、令和 5 (2023) 年度は分析を行っていません。

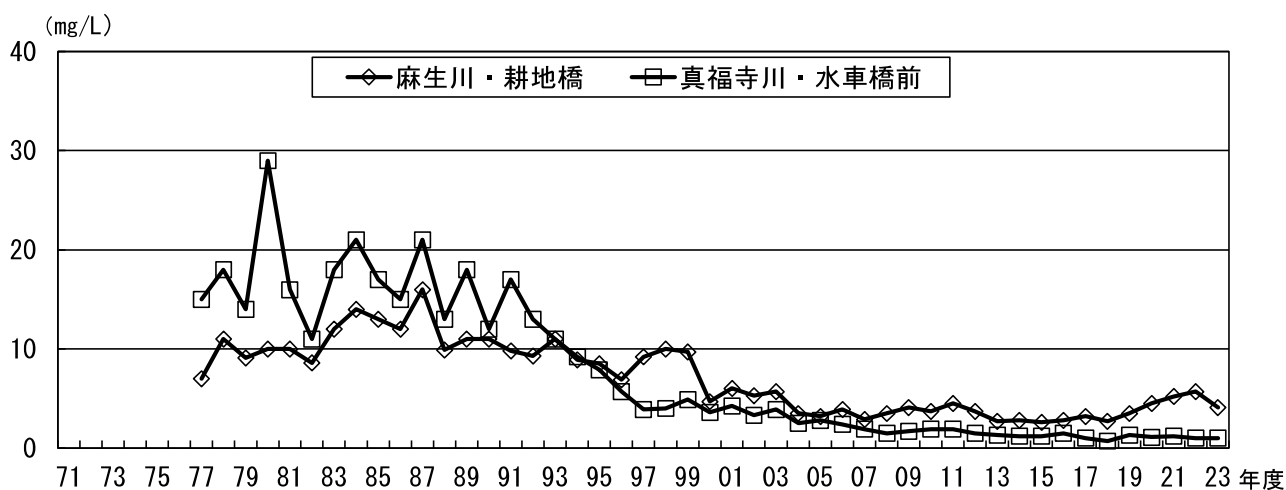
(イ) 生活環境項目

a 経年推移

河川の代表的な汚濁指標である BOD は大きく改善し、平成 20(2008)年度頃からは低濃度で推移しています。



多摩川水系の BOD の年間平均値の経年推移



(注) 麻生川・耕地橋は平成 3 (1991) 年度まで仲野橋で測定

鶴見川水系の BOD の年間平均値の経年推移

b 環境基準等の達成（適合）状況

生活環境項目とは、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として環境基準が定められた項目です。

(a) BOD の環境基準値適合状況

BOD の環境基準は環境基準点において評価することとされており、この調査結果には、環境基準点以外の結果も含んでいます。したがって、この公表では、全ての測定地点において環境基準値と比較し、環境基準値以下の場合は「適合」としています。多摩川水系の6地点及び鶴見川水系の6地点を調査しました。環境基準値の適合状況は75%水質値で評価します。B類型水域5地点のBODの75%水質値は、1.3～1.9 mg/L、C類型水域4地点のBODの75%水質値は1.5～1.8 mg/L、D類型水域3地点のBODの75%水質値は1.1～5.1 mg/Lで、全地点で環境基準値に適合していました。

BOD の環境基準値適合状況

水系	河川名	地点名	類型	環境基準値	75%水質値
多摩川	三沢川	一の橋	C	5 mg/L 以下	1.5 mg/L
	二ヶ領本川	堰前橋	B	3 mg/L 以下	1.5 mg/L
	平瀬川	平瀬橋（人道橋）	B	3 mg/L 以下	1.7 mg/L
	二ヶ領用水 円筒分水下流	今井仲橋※ ²	B	3 mg/L 以下	1.9 mg/L
	二ヶ領用水 宿河原線	出会い橋	B	3 mg/L 以下	1.7 mg/L
	五反田川	追分橋	B	3 mg/L 以下	1.3 mg/L
鶴見川	麻生川	耕地橋	D	8 mg/L 以下	5.1 mg/L
	真福寺川	水車橋前	D	8 mg/L 以下	1.1 mg/L
	片平川	片平橋下	D	8 mg/L 以下	1.5 mg/L
	有馬川	五月橋	C	5 mg/L 以下	1.8 mg/L
	渋川	渋川橋	C	5 mg/L 以下	1.5 mg/L
	矢上川	矢上川橋※ ¹	C	5 mg/L 以下	1.8 mg/L

※¹ 矢上川・矢上川橋は国土交通省で測定

※² 環境基準が定められていない二ヶ領用水円筒分水下流・今井仲橋は流入元の二ヶ領本川の環境基準を当てはめて評価

(注) は環境基準値適合

この調査結果は、環境基準の達成状況を判断する地点として定められている環境基準点以外の結果を含むため、ここでは環境基準値以下の場合を全て「適合」としてしています。

(b) 大腸菌数の環境基準達成状況

多摩川水系 2 地点で調査をしました。二ヶ領本川・堰前橋で 3400 CFU/100mL、平瀬川・平瀬橋（人道橋）で 4800 CFU/100mL であり、環境基準を非達成でした。

大腸菌数の環境基準達成状況

水系	河川名	地点名	類型	環境基準値	90%水質値
多摩川	二ヶ領本川	堰前橋	B	1000 CFU/100mL 以下	3400 CFU/100mL
	平瀬川	平瀬橋（人道橋）	B	1000 CFU/100mL 以下	4800 CFU/100mL

※大腸菌数に用いる単位は CFU（コロニー形成単位（Colony Forming Unit））/100ml とし、大腸菌を培地で培養し、発育したコロニー数を数えることで算出する。

(c) 全亜鉛、ノニルフェノール及び直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）の環境基準値適合状況

多摩川水系 3 地点及び鶴見川水系 2 地点の合計 5 地点を調査しました。環境基準値の適合状況は、年間平均値で評価します。全亜鉛の年間平均値は 0.003～0.034 mg/L で 4 地点で環境基準値に適合していましたが 1 地点で適合していませんでした。ノニルフェノールの年間平均値は 0.00006 mg/L 未満で、全地点で環境基準値に適合していました。直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）の年間平均値は 0.0021～0.0059 mg/L で、全地点で環境基準値に適合していませんでした。

全亜鉛、ノニルフェノール及び直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）の環境基準値適合状況

水系	河川名	地点名	類型	全亜鉛		ノニルフェノール		直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）	
				環境基準値	年間平均値	環境基準値	年間平均値	環境基準値	年間平均値
多摩川	三沢川	一の橋	生物 B	0.030 mg/L 以下	0.009 mg/L	0.002 mg/L 以下	0.00006 mg/L 未満	0.05 mg/L 以下	0.0036 mg/L
	二ヶ領本川	堰前橋			0.0010 mg/L		0.00006 mg/L 未満		0.0059 mg/L
	平瀬川	平瀬橋（人道橋）			0.009 mg/L		0.00006 mg/L 未満		0.0025 mg/L
鶴見川	麻生川	耕地橋			0.034 mg/L		0.00006 mg/L 未満		0.0021 mg/L
	真福寺川	水車橋前			0.003 mg/L		0.00006 mg/L 未満		0.0027 mg/L

（注） は環境基準値適合

(d) その他の生活環境項目の環境基準値適合率

環境基準値適合率は、pH 76.7%、SS 100%、DO 100%でした。

生活環境項目の環境基準値適合率

項 目	類型	環境基準 (mg/L) ※2	評価地点数		適合数/ 評価地 点・日数	適合率
			調査地 点	調査日 数		
水素イオン濃度 (pH)	B	6.5 以上 8.5 以下	10	12	92/120	76.7%
	C					
	D					
浮遊物質 (SS)	B	25 以下	10	12	120/120	100%
	C	50 以下				
	D	100 以下				
溶存酸素量 (DO)	B	5 以上	10	12	120/120	100%
	C	5 以上				
	D	2 以上				

※1 評価は日間平均

※2 水素イオン濃度 (pH) は無単位

(e) 測定地点別経年推移

川崎市内の多摩川水系の令和5(2023)年度のBOD年間平均値は、0.9～1.9 mg/L (雨水幹線は1.2～2.2 mg/L) でした。また、川崎市内の鶴見川水系の令和5(2023)年度のBOD年間平均は0.9～4.1 mg/L でした。

多摩川水系のBOD年間平均値の経年推移(年度)

(単位: mg/L)

河川・地点名		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
二ヶ領本川	親水公園内	1.3	1.9	1.6	1.2	1.0	1.3	1.1	1.2	1.1	1.4
山下川	合流前	1.2	1.1	1.2	0.8	0.7	2.4	1.0	0.9	0.8	1.1
二ヶ領本川	南橋	1.2	1.0	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.1	1.0	1.5
五反田川	追分橋	1.1	1.5	1.3	1.5	1.1	1.2	1.1	1.0	1.5	1.1
二ヶ領用水宿河原線	出会い橋	1.4	1.5	1.2	1.7	1.1	1.3	1.0	1.1	1.1	1.5
二ヶ領本川	堰前橋	1.4	1.5	1.3	1.5	1.1	1.5	1.3	1.3	1.3	1.5
二ヶ領用水円筒分水下流	今井仲橋	1.4	1.6	1.5	1.9	1.8	1.9	1.6	1.6	1.3	1.6
二ヶ領用水円筒分水下流	鹿島田橋	1.4	1.7	1.6	1.2	1.9	1.5	1.6	1.8	1.7	1.6
三沢川	下村橋下	0.8	0.6	0.8	0.9	0.6	0.9	0.4	0.6	0.6	1.1
三沢川	一の橋	1.8	1.5	1.1	1.0	1.0	1.1	1.1	1.2	1.1	1.3

○基本施策Ⅰ－1－④水環境に係るモニタリングの実施○

平瀬川	支川合流後	1.0	0.9	1.0	0.9	1.0	0.9	0.8	0.8	0.8	0.9
平瀬川	中之橋	1.2	1.8	1.5	1.2	1.2	1.7	1.9	0.9	1.1	1.9
平瀬川	平瀬橋 (人道橋)	1.3	1.4	1.4	1.4	1.0	1.3	1.3	1.2	1.4	1.4
登戸雨水幹線	多摩川流入前	1.4	2.6	2.7	1.8	1.7	1.4	1.0	1.7	1.4	1.2
六ヶ村堀雨水幹線	多摩川流入前	2.2	1.5	1.7	2.1	2.4	2.6	1.6	1.3	2.2	1.7
宮内雨水幹線	多摩川流入前	1.7	2.4	3.3	2.4	2.6	4.7	1.6	1.4	2.2	2.2

鶴見川水系の BOD 年間平均値の経年推移（年度）

（単位：mg/L）

河川・地点名		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
片平川	片平橋下	1.0	1.0	0.8	1.0	0.8	1.2	0.8	0.8	0.8	1.3
麻生川	耕地橋	2.8	2.6	2.8	3.2	2.7	3.5	4.5	5.2	5.7	4.1
麻生川	山口橋	1.6	1.3	0.9	1.1	0.7	0.7	0.6	0.7	0.8	1.4
真福寺川	水車橋前	1.2	1.2	1.5	1.0	0.7	1.3	1.1	1.2	1.0	1.0
矢上川	大日橋	1.6	1.4	1.0	1.8	1.2	1.8	1.1	1.1	1.0	0.9
矢上川	日吉橋	3.0	2.5	2.1	2.3	2.7	2.4	1.4	1.6	1.6	1.6
矢上川	矢上川橋※	2.1	1.7	3.1	1.5	1.6	1.6	2.2	1.6	1.8	1.7
有馬川	五月橋	1.7	1.6	1.2	1.6	1.2	1.5	1.4	1.3	1.1	1.6
渋川	渋川橋	1.1	1.1	0.9	1.1	1.2	1.3	1.0	1.0	1.2	1.3

※ 矢上川・矢上川橋は国土交通省で測定

イ 海域水質の測定結果

(ア) 健康項目

健康項目 25 項目は、令和 5 (2023) 年度は全地点で環境基準を達成しました。

健康項目の環境基準達成状況（海域）

健康項目	調査 地点数	環境基準値 (mg/L)	各地点の年間平均値 の最高濃度 (mg/L)	環境基準 達成 地点数	達成率 (%)
カドミウム	9	0.003 以下	0.0003 未満	9	100
全シアン	9	検出されないこと	不検出	9	100
鉛	9	0.01 以下	0.005 未満	9	100
六価クロム	9	0.02 以下	0.01 未満	9	100
砒素	9	0.01 以下	0.005 未満	9	100
総水銀	9	0.0005 以下	0.0005 未満	9	100
アルキル水銀※	—	検出されないこと	—	—	—
PCB	9	検出されないこと	不検出	9	100
ジクロロメタン	9	0.02 以下	0.0002 未満	9	100
四塩化炭素	9	0.002 以下	0.0002 未満	9	100
1,2-ジクロロエタン	9	0.004 以下	0.0002 未満	9	100
1,1-ジクロロエチレン	9	0.1 以下	0.0002 未満	9	100
シス-1,2-ジクロロエチレン	9	0.04 以下	0.0002 未満	9	100
1,1,1-トリクロロエタン	9	1 以下	0.0002 未満	9	100
1,1,2-トリクロロエタン	9	0.006 以下	0.0002 未満	9	100
トリクロロエチレン	9	0.01 以下	0.0002 未満	9	100
テトラクロロエチレン	9	0.01 以下	0.0002 未満	9	100
1,3-ジクロロプロペン	9	0.002 以下	0.0004 未満	9	100
チウラム	9	0.006 以下	0.0006 未満	9	100
シマジン	9	0.003 以下	0.0003 未満	9	100
チオベンカルブ	9	0.02 以下	0.002 未満	9	100
ベンゼン	9	0.01 以下	0.0002 未満	9	100
セレン	9	0.01 以下	0.002 未満	9	100
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	9	10 以下	1.0	9	100
1,4-ジオキサン	9	0.05 以下	0.005 未満	9	100

※ アルキル水銀は総水銀が検出された場合に分析を行うため、令和 5 (2023) 年度は分析を行いませんでした。

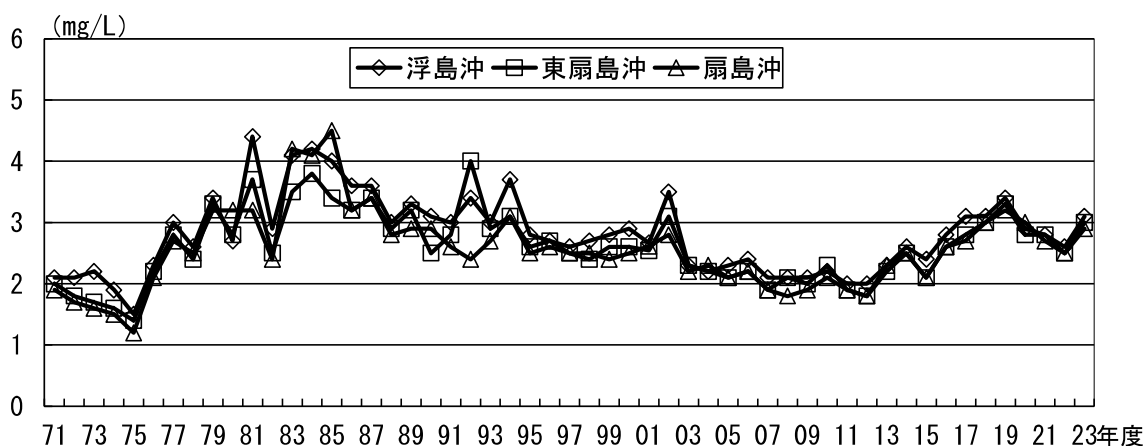
(イ) 生活環境項目

a 経年推移

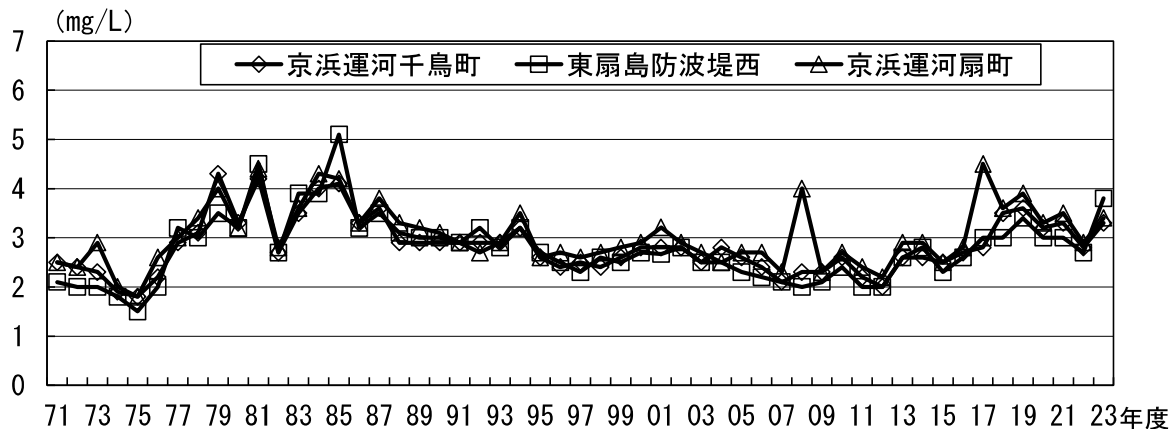
(a) COD

海域の代表的な汚濁指標である COD は昭和 60(1985)年ころをピークに改善傾向でしたが、近年微増傾向です。東京湾は閉鎖的水域であることから、改善が難しい状況が続いています。

なお、平成 29(2017)年度及び平成 20(2008)年度の京浜運河扇町は、平成 29(2017)年 7 月及び平成 20(2008)年 6 月に発生した赤潮の影響で高濃度となりました。



海 域 ・ B 類 型 の COD の 年 間 平 均 値 の 経 年 推 移

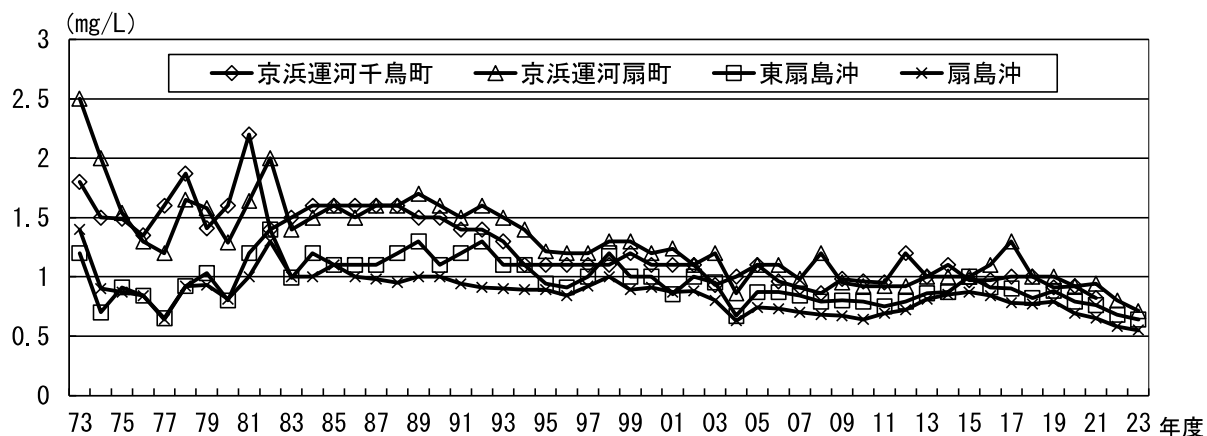


海 域 ・ C 類 型 の COD の 年 間 平 均 値 の 経 年 推 移

(b) 全窒素

全窒素とは窒素化合物全体のことで、窒素は富栄養化の要因となっています。

主な地点の全層（上層と下層の平均値）の年間平均値は、緩やかな減少傾向が見られています。



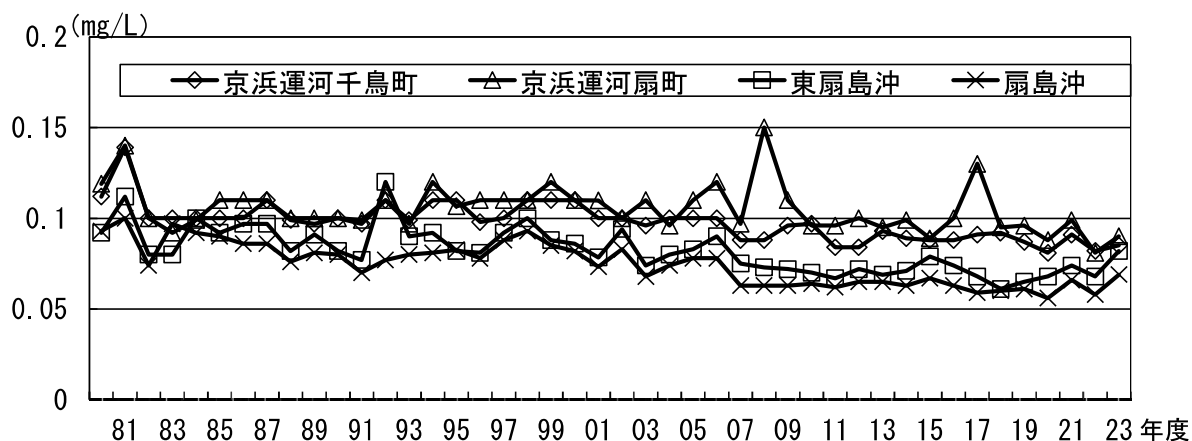
海域の全窒素の年間平均値（全層）の経年推移

(c) 全磷

全磷とは磷化合物全体のことで、磷は富栄養化の要因となっています。

主な地点の全層の年平均値は、横ばいで推移しています。

なお、平成 29 (2017) 年度及び平成 20 (2008) 年度の京浜運河扇町は、平成 29 (2017) 年 7 月及び平成 20 (2008) 年 6 月に発生した赤潮の影響で高濃度となりました。



海域の全磷の年間平均値（全層）の経年推移

b 環境基準等の達成（適合）状況

海域の生活環境項目の環境基準は水域ごとで評価することとされており、本市の測定地点が含まれる水域は他自治体にまたがっています。したがって、この公表では、測定地点ごとに環境基準値と比較し、環境基準値以下の場合は「適合」としています。

(a) COD の環境基準値適合状況

B類型水域（沖合部）3地点、C類型水域（運河部）3地点の合計6地点を調査しました。環境基準値の適合状況は、75%水質値で評価します。B類型水域3地点のCODの75%水質値は3.0～3.2 mg/L、C類型水域3地点のCODの75%水質値は3.5～4.3 mg/Lで、B類型水域の東扇島沖1地点で環境基準値に適合しており、C類型水域の全地点で環境基準値に適合していました。

COD の環境基準値適合状況

測定地点	類型	環境基準値	75%水質値
浮島沖	B	3 mg/L 以下	3.1 mg/L
東扇島沖	B	3 mg/L 以下	3.0 mg/L
扇島沖	B	3 mg/L 以下	3.2 mg/L
京浜運河千鳥町	C	8 mg/L 以下	3.8 mg/L
東扇島防波堤西	C	8 mg/L 以下	3.5 mg/L
京浜運河扇町	C	8 mg/L 以下	4.3 mg/L

（注） は環境基準値適合

(b) 全窒素及び全磷の環境基準値適合状況

沖合部3地点、運河部3地点の合計6地点を調査しました。環境基準値の適合状況は上層（水面下0.5 m）の年間平均値で評価します。全窒素の上層の年間平均値は、0.72～1.1 mg/Lで、浮島沖以外の5地点で環境基準値に適合していました。全磷の上層の年間平均値は、0.081～0.13 mg/Lで、扇島沖と京浜運河千鳥町の2地点で環境基準値に適合していました。

全窒素及び全磷の環境基準値適合状況

測定地点	全窒素			全磷		
	類型	環境基準値	年間平均値	類型	環境基準値	年間平均値
浮島沖	Ⅳ	1 mg/L 以下	1.1 mg/L	Ⅳ	0.09 mg/L 以下	0.12 mg/L
東扇島沖			0.91 mg/L			0.10 mg/L
扇島沖			0.72 mg/L			0.081 mg/L
京浜運河千鳥町			0.88 mg/L			0.086 mg/L
東扇島防波堤西			0.94 mg/L			0.13 mg/L
京浜運河扇町			0.93 mg/L			0.11 mg/L

(注) は環境基準値適合

(c) 全亜鉛、ノニルフェノール及び直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）の環境基準値適合状況

沖合部3地点、運河部3地点の合計6地点を調査した。環境基準値の適合状況は、全層の年間平均値で評価します。全亜鉛の全層の年間平均値は0.003～0.008 mg/Lで、全地点で環境基準値に適合していました。ノニルフェノールの全層の年間平均値は0.00006 mg/L未満で、全地点で環境基準値に適合していました。直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）の全層の年間平均値は0.0006 mg/L未満～0.0018 mg/Lで、全地点で環境基準値に適合していました。

全亜鉛、ノニルフェノール及び直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）の環境基準値適合状況

測定地点	全亜鉛			ノニルフェノール			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）		
	類型	環境基準値	年間平均値	類型	環境基準値	年間平均値	類型	環境基準値	年間平均値
浮島沖	生物 A	0.02 mg/L 以下	0.005 mg/L	生物 A	0.001 mg/L 以下	0.00006 mg/L 未満	生物 A	0.01 mg/L 以下	0.0018 mg/L
東扇島沖			0.004 mg/L			0.00006 mg/L 未満			0.0011 mg/L
扇島沖			0.004 mg/L			0.00006 mg/L 未満			0.0006 mg/L 未満
京浜運河 千島町			0.008 mg/L			0.00006 mg/L 未満			0.0006 mg/L 未満
東扇島 防波堤西			0.003 mg/L			0.00006 mg/L 未満			0.0006 mg/L 未満
京浜運河 扇町			0.005 mg/L			0.00006 mg/L 未満			0.0011 mg/L

（注） は環境基準値適合

(d) その他の生活環境項目の環境基準値適合率

B類型水域（沖合部）3地点、C類型水域（運河部）3地点の合計6地点を調査しました。環境基準値適合率は、pH 83.3%、D0 91.7%、n-ヘキサン抽出物質100%でした。

項 目	類型	環境基準 (mg/L) ※2	評価地点数		適合数/ 評価地 点・日数	適合率
			調査地 点	調査日 数		
水素イオン濃度（pH）	B	7.8 以上	6	12	60/72	83.3%
	C	8.3 以下				
溶存酸素量（D0）	B	5 以上	6	12	66/72	91.7%

	C	2 以上				
n－ヘキサン抽出物質※ ³	B	不検出	3	12	36/36	100%

※ 1 評価は日間平均

※ 2 水素イオン濃度 (pH) は無単位

※ 3 n－ヘキサン抽出物質はB類型のみ

c 測定地点別経年推移

(a) COD

令和 5 (2023) 年度の全層（上層（水面下 0.5 m）と下層（底上 1 m）の平均値）の COD 年間平均値は、B 類型水域 3 地点では 2.9～3.1 mg/L、C 類型水域 9 地点では 2.9～4.1 mg/L でした。

なお、平成 29 (2017) 年度の京浜運河扇町は平成 29 (2017) 年 7 月に発生した赤潮の影響（22mg/L 及び 20mg/L）で高濃度となりました。

海域の COD の年間平均値の経年推移（年度）

（単位：mg/L）

測定地点	類型	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
浮島沖	B	2.6	2.4	2.8	3.1	3.1	3.4	2.9	2.8	2.6	3.1
東扇島沖	B	2.5	2.1	2.6	2.8	3.0	3.3	2.8	2.8	2.5	3.0
扇島沖	B	2.5	2.1	2.6	2.7	3.0	3.2	3.0	2.7	2.5	2.9
京浜運河千鳥町	C	2.6	2.5	2.7	2.8	3.5	3.6	3.2	3.3	2.8	3.3
東扇島防波堤西	C	2.8	2.3	2.6	3.0	3.0	3.4	3.0	3.0	2.7	3.8
京浜運河扇町	C	2.9	2.5	2.8	4.5	3.6	3.9	3.3	3.5	2.9	3.4
末広運河先	C	2.5	2.4	3.0	3.0	3.3	3.6	3.2	2.8	2.8	3.3
大師運河先	C	2.5	2.3	2.8	5.7	3.1	3.4	2.9	2.8	2.6	2.9
夜光運河先	C	3.0	2.7	3.1	4.6	3.5	3.9	3.3	2.9	3.1	3.7
桜堀運河先	C	3.4	3.9	3.5	3.9	3.9	5.3	3.7	3.1	3.2	4.1
池上運河先	C	3.3	2.7	3.6	7.5	3.6	4.2	3.4	3.0	2.9	3.6
南渡田運河先	C	2.8	2.7	3.0	3.7	3.6	3.8	3.0	2.7	2.8	3.7

(b) 全窒素

令和5(2023)年度の全層の年間平均値は0.55～1.3 mg/Lでした。

海域の全窒素の年間平均値の経年推移（年度）

（単位：mg/L）

測定地点	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
浮島沖	1.1	1.1	1.1	1.1	0.98	0.98	0.90	0.90	0.81	0.77
東扇島沖	0.87	1.0	0.91	0.90	0.82	0.88	0.79	0.76	0.68	0.64
扇島沖	0.85	0.87	0.84	0.78	0.77	0.79	0.69	0.65	0.58	0.55
京浜運河千鳥町	1.0	1.1	0.97	0.97	1.0	1.0	0.91	0.92	0.82	0.69
東扇島防波堤西	0.96	0.96	0.91	0.93	0.83	0.90	0.78	0.80	0.68	0.71
京浜運河扇町	1.0	1.0	1.1	1.3	1.0	1.0	0.92	0.94	0.80	0.71
末広運河先	1.7	1.6	1.6	1.7	1.7	1.4	1.3	1.2	1.3	1.1
大師運河先	1.2	1.1	1.3	1.7	1.0	1.0	0.89	0.95	0.87	0.73
夜光運河先	1.4	1.4	1.4	1.6	1.3	1.1	1.1	0.91	0.97	0.81
桜堀運河先	1.8	2.5	1.7	1.7	2.1	1.9	1.2	1.3	1.3	1.3
池上運河先	1.2	1.3	1.1	1.9	1.1	1.1	0.92	0.96	0.87	0.71
南渡田運河先	1.5	1.5	1.3	1.3	1.5	1.4	1.0	1.0	1.0	0.86

(c) 全燐

令和 5 (2023) 年度の全層の年間平均値は 0.069～0.23 mg/L でした。

なお、平成 29(2017)年度は、平成 29(2017)年 7 月に発生した赤潮の影響で高濃度となりました。

海域の全燐の年間平均値の経年推移（年度）

（単位：mg/L）

測定地点	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
浮島沖	0.076	0.092	0.088	0.087	0.079	0.076	0.075	0.087	0.085	0.092
東扇島沖	0.071	0.079	0.074	0.068	0.061	0.065	0.068	0.074	0.068	0.082
扇島沖	0.063	0.067	0.063	0.059	0.060	0.061	0.056	0.066	0.058	0.069
京浜運河千鳥町	0.089	0.088	0.088	0.091	0.092	0.087	0.081	0.091	0.082	0.085
東扇島防波堤西	0.075	0.073	0.071	0.079	0.072	0.072	0.065	0.074	0.069	0.095
京浜運河扇町	0.099	0.089	0.10	0.13	0.095	0.096	0.088	0.099	0.081	0.090
末広運河先	0.11	0.12	0.12	0.10	0.10	0.11	0.095	0.11	0.10	0.12
大師運河先	0.088	0.087	0.091	0.17	0.075	0.096	0.077	0.10	0.091	0.082
夜光運河先	0.096	0.099	0.10	0.15	0.090	0.091	0.084	0.095	0.093	0.093
桜堀運河先	0.23	0.40	0.23	0.29	0.30	0.29	0.14	0.17	0.13	0.23
池上運河先	0.12	0.12	0.098	0.22	0.11	0.12	0.087	0.12	0.091	0.091
南渡田運河先	0.12	0.11	0.12	0.13	0.13	0.12	0.091	0.11	0.095	0.10